



2014年9月9日(火) 開催予定
TAC Webcast 事前資料

第3版 Cisco LANスイッチ教科書「番外編」

山下 薫 (kaoru@cisco.com)

シスコシステムズ合同会社

2014年7月31日

この資料と当日のWebcastの内容について

- このWebcastでは、今年3月に出版された「第3版 Cisco LANスイッチ教科書」に関するご質問にお答えします。
 - CatalystやNexusに関するご質問であれば、この本に記載されていない内容でも構いません。
- 本番1週間前までにいただいたご質問をもとに、当日の内容を組み立てる予定です。
- ご質問お待ちしております! --- 具体的な方法は次スライドで

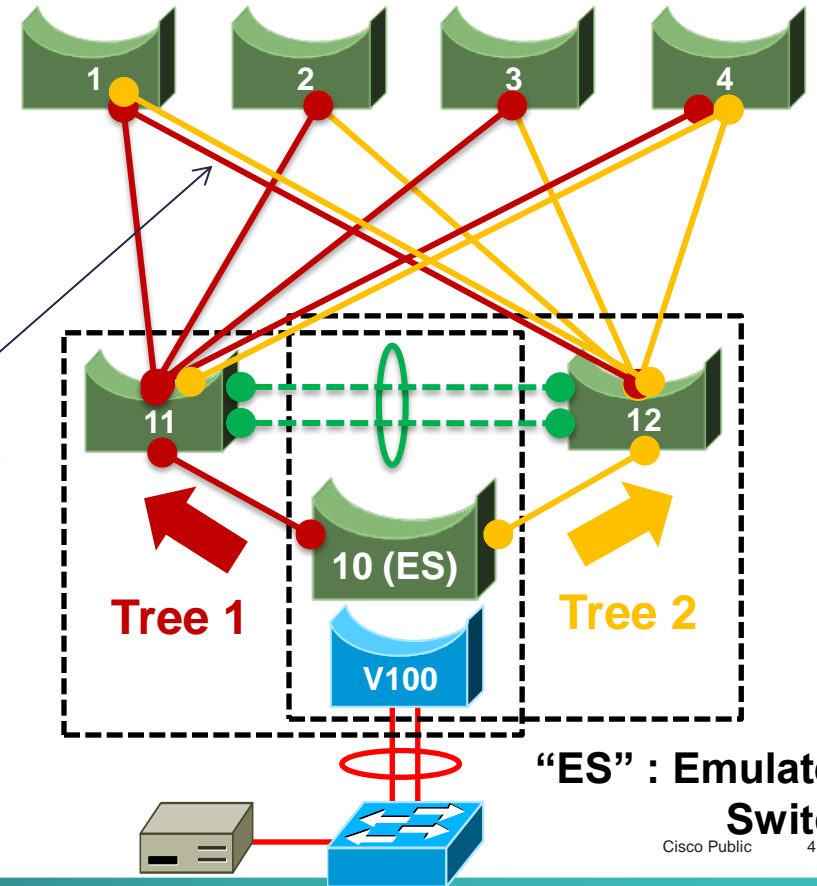
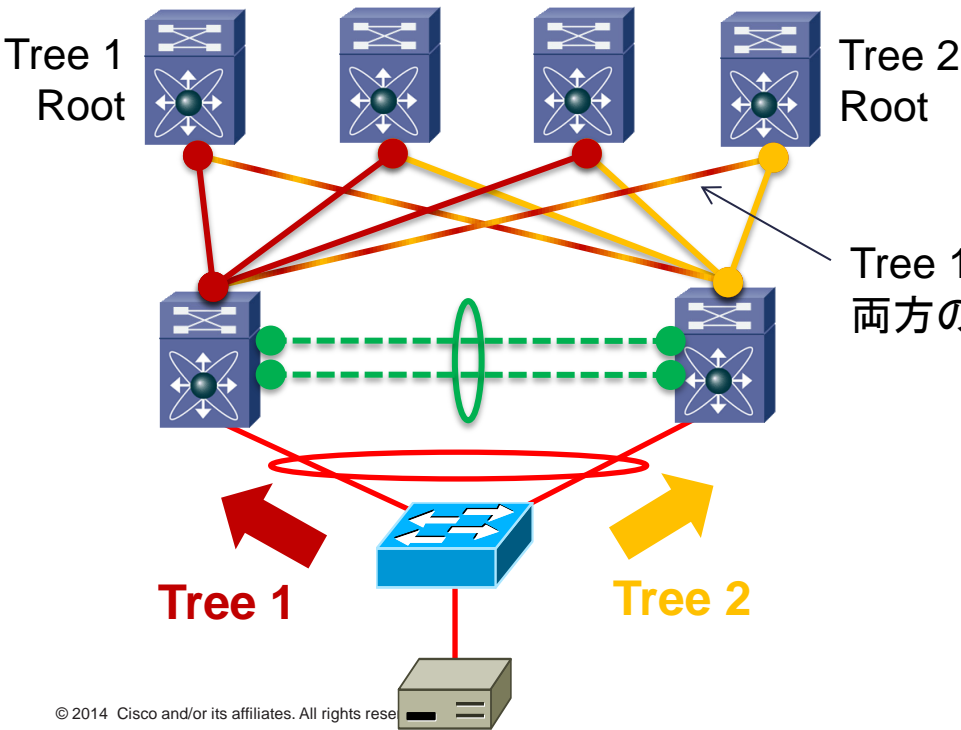


9月9日(火)当日のAgenda (予定)

- 事前にいただいたご質問にお答えします (※切: 9月2日)
当日(Webcast本番後)にもご質問をお受けしますが、内容によっては即答できず、後日掲示板にて回答する場合があります。
掲示板のURLはこちらです。
<https://supportforums.cisco.com/ja/discussion/12169961>
掲示板を利用されない場合は、lansw-book@external.cisco.com にご質問をお送りください。
- 7月31日の時点でいただいている、未回答のご質問:
 - ACLがTCAMに書き込めない場合、スイッチはどのように動作するのか
- Q&A以外にプレゼンタが用意した話題:
 - FabricPathの高度なトピック
 - 執筆時にどこまで、どうやって検証したのかの裏話 (e.g. STP安定化技術)

(2013年1月のWebcastより)

FabricPath: vPC+ とツリー (上り) Broadcast も分散する



その後現れた課題

- カラーであれば問題ありませんが、白黒印刷だと以下のようにアイコンが区別できなくなってしまう。



- そもそも、なぜ vPC+では2本のツリーを使い分けるのでしょうか？
→ 上りのフレームを一方は Tree 1、他方は Tree 2 に振り分けるのはなぜ？

P. 280 表7.1 STP安定化技術の一覧

	目的	動作	自動復旧	ポートチャネルの場合
ルートガード (Root Guard)	想定外のスイッチがルートブリッジになることを防ぐ	優先度の高いBPDUを受信している間、ポートを不整合状態にしてブロックする	優先度の高いBPDUを受信しなくなると復旧	ポートチャネル全体に対して動作
BPDUガード (BPDU Guard)	スイッチを接続することを想定していないポートへのスイッチの接続を防ぐ	BPDUを受信すると、そのポートをerrdisable状態にする	なし(手動操作またはerrdisable recoveryを使用)	ポートチャネル全体に対して動作
ループガード (Loopguard)	ブロッキング状態のポートが、意図せずにフォーワーディングになることを防ぐ	BPDUの受信が途絶えると、ポートを不整合状態にしてブロックする	BPDUを再び受信すると復旧	ポートチャネル全体に対して動作
UDLD (Normal)	レイヤ1では直接わからないリンクの片通を検出する	相手が自分を認識していない(相手から自分への片通状態)と判断したらerrdisable状態にする	なし(手動操作またはerrdisable recoveryを使用)	メンバーごとに独立して動作
UDLD (Aggressive)	レイヤ1では直接わからないリンクの片通と全断を検出する	UDLD Normalに加えて、相手から一定時間UDLDの制御フレームを受信できなければerrdisable状態にする	なし(手動操作またはerrdisable recoveryを使用)	メンバーごとに独立して動作

この表に加えて、
BA (Bridge Assurance)と
Disputeの動作を全て
実際に確認しました。

その方法を、簡単に
ご紹介します。

Thank you.

